

# 町長の施政方針を 問う！

平成29年度当初予算の審議にあたり、議会開会日の3月1日、町長が施政方針を述べました。続いて、2日に2人の議員が質問に立ち、町長の見解を問いました。



石関 昭 町長

心身ともに健康で長生きし、いきいきと輝き、誇りと生きがいを持つて暮らせるよう、

## 支え合う健康と 福祉のまち

人口が減少することも想定されていることから、総合戦略のみならず、総合計画などさまざまな施策を講じ、人口減少に転じることのないよう努めます。

すべての町民が生涯を通じて学ぶ意欲をもつて、学習活動や文化・スポーツ活動に取り組める環境づくりに努めます。

## 町民と行政が 協働するまちが

町民生活を支える、道路網や公共交通網などの確保に努めます。

将来的に責任を持てる町がないよう、熟慮します。

優れた知性を身につけ、豊かな心をもち、心身ともに健やかに成長していくよう、学校・家庭・地域社会の連携・協力のもと、学校教育の充実を図ります。

## 住みよい安全で 便利なまち

多様な地域資源を活かした地域産業の振興に、総合的に取り組みます。

## 活力ある産業と 雇用のまち

より元気なまちづくりを目指します。

第5次総合計画の施策を確実に達成し、予算に占める借入金返済額の割合を抑制すると、いう財政健全化も考慮したうえで、平成29年度予算でも、多額のまちの貯金を取り崩す予算編成となっています。

「前へ、前へ」を念頭に、前進するまちづくりに全力を尽くします。

町民が安全便利に生活できるよう、安全なまちづくりを進めます。

## 心豊かな教育と 文化のまち

全国の市町村が、人口減少・少子高齢化に苦しんでいる中で、吉岡町は、平成62年頃まで、人口が増え続けると想定されています。

しかしその後は、人口が減少することも想定されていることから、総合戦略のみならず、総合計画などさまざまな施策を講じ、人口減少に転じることのないよう努めます。

# 前進する まちづくりに全力





山畠 祐男 議員

## 観光協会の設立を

問 男女共同参画事業の具体的な計画は。

町長 平成29年度に、推進協議会を立ち上げ、基礎資料作りやアンケートを実施し、年度内に取りまとめる予定。平成30年度に、男女共同参画計画を策定予定。

町長 県と協力しながら、広域的な観光資源を活用した渋川・伊香保・吉岡観光トライアングルの形成が必要不可欠で、その仕組み作りが重要。

町長 安全・安心な通行ができるよう、検討したい。

町長 町村にふるさと納税をしている人が増えているという現状を考えると、この事業をしなければならない

町長 連続稼働時間は、72時間。100ワットの電気製品が2000台使えるディーゼル発電機を予定。

町長 まちの特産品も考えています。まちの活性化にもつながると思う。検討したい。

町長 あるいは、給食費

町長 私も、公約

町長 それぞれの整

町長 て、情報提供を受けながら、できる協力は、検討したい。

町長 第5次総合計画

町長 のシンボルプロ

町長 ジェクトである「よし



小池 春雄 議員

## 給食費の無料化を

問 駒寄スマート－C大型車対応化工事が終了し、大規模開発が進んだ場合、今

町長 町長のふるさと納税に対する考

町長 空き家対策事業として、空き家を把握したあと、まちは何をするのか。

町長 今後、空き家

町長 対策計画を策

町長 定する予定。その中で、

町長 住民代表、専門家など

町長 で構成された協議会を

町長 立ち上げ、検討したい。

町長 は、まちの特産

町長 10万円を限度

町長 として、工事金額の

町長 10%に相当する額にな

町長 っている。引き続き制

町長 度の周知を図りたい。

町長 あまり利用者が少ない

町長 ならば、いろいろ検討

町長 しなければならない

町長 が、今のところは、こ

町長 の制度でいきたい。

町長 えられないか。

町長 農業集落排水、

町長 公共下水が関

町長 係していくので難しい。

町長 がら、検討したい。

町長 ことには掲げている。残

町長 り2年間で、その都度

町長 の予算、税収を考えな

町長 がら、検討したい。

町長 ことは掲げている。残

町長 のふるさと納税に対する考

町長 えられないか。

町長 ことは掲げている。残

町長 えられないか。